

桑名市総合医療センター 開院に向けて

シリーズ

伸びゆくまち

桑名

桑名のまちづくりが進んでいく様子を
シリーズ化してお伝えしていきます。

4月1日
開院
セレモニー

5月1日から
診療開始

市民の皆さん待望の桑名市総合医療センターが、いよいよ4月1日(日)に開院します。4月7日・8日に市民の皆さん、医療関係者向けに内覧会を実施し、患者さんの受け入れ態勢を整えて、5月1日(火)から診療が始まります。新病院では、地域の中核病院として担うべき「救急医療」「周産期医療」「小児医療」の3つの機能と、急性期病院として「がん診療」「脳卒中や急性心筋梗塞などの急性疾患」に対し、チーム医療を強化した診療を行い、地域の医療を支えます。

新病院の4つのコンセプト

患者さんが主役の病院：プライベートに配慮された快適な環境で安心できる治療を受けられます。患者さんとの信頼関係を築き、患者さんの意思を尊重した最善の医療の提供に努めます。

高度で専門的な医療を受けられる病院

：地域の皆さんに信頼される医療スタッフを育てるとともに、高度な医療機器を整備します。さまざまな種類の医療スタッフがチームとなって、互いに連携・協同し、高度で安全な医療を実践します。

地域完結型病院：地域の皆さんが安心して暮らせるよう「かかりつけ医」との連携を強化します。

職員が働きやすい病院：24時間対応の院内保育所の設置、選択できる勤務体制を導入するなど、職員一人ひとりのモチベーションが高まる働きやすい環境を整えます。

新病院の6つの特徴

がん診療への対応：桑名地域で初の放射線治療機器の導入で、複数の治療法が可能となる集中的治療や、がんの早期発見から治療までをこの地域で提供できる体制づくりを図ります。

急性疾患への対応：脳卒中、急性心筋梗塞などの急性疾患に、最新医療機器の整備、各科医師の連携により、受け入れ体制を強化します。

救急医療の強化：救急病床の設置や、患者受け入れ体制を強化します。

周産期（新生児）医療の強化：産科病床と新生児集中治療室の増設のほか、陣痛、分娩、回復のための部屋が一体となった分娩室や回復治療室を新設します。

小児医療の強化：小児病床を増設して、小児患者の受け入れ体制を強化します。

チーム医療の強化：疾患ごとに多職種がチームを作り総合的な診療を行います。



1. 桑名市総合医療センター入口 2. 総合案内ロビー 3. 外来診療受付 4. 小児科外来診療室

新病院は**次**のように変わります！

変更点	現病院	増減	新病院	特徴
医師数	95人	➡	120人	ほぼすべての診療科で専門医師を配置する予定です。
看護師数	350人	➡	360人	患者さんへのきめこまやかな対応ができるように努めます。
病床数	662床	➡	400床 (改修棟含む)	国が示す地域医療構想に基づき、桑名東・西・南医療センターの3病院を統合し、適切な病床数に集約しました。
1日の外来患者数	965人	➡	1,000人	予約診療の徹底、案内表示パネルにより、待ち時間の負担軽減に努めます。
入院患者数	294人	➡	360人	安心して入院ができる体制づくりを整えます。
その他	新病院は1階、2階が駐車場となり、診療などは3階以上となります。そのため津波などで浸水した場合でも、危険を回避できる構造となっています。			

内覧会のお知らせ

新しい病院を見に行きませんか

新病院内の診察室、病室、ロビーなどを見学することができます。

とき 4月7日(土) 午前10時～午後3時 **場所** 桑名市総合医療センター **申込** 不要

▷内覧会の際は、駐車場がないため公共交通機関でお越しください。

問 桑名東医療センター (☎22-1211 FAX 22-9498)

問 地域医療課 (☎ 24-0562 FAX 24-3032) または、桑名市総合医療センター (☎22-1211 FAX 22-9498)